

◆木工作业での思い出の写真を選んで発表しよう

1 対象児童生徒（対象学級）の実態

小学部高学年の男子4名。学習への興味・関心およびスキルは様々で幅があるが、新しいことへの興味・関心度は高く、いつもと違う活動を取り入れると、積極的に活動へ参加できることも多い児童集団である。個人のスキルに合った活動内容であればそれぞれに能力を発揮したり、仲間に応援・補助をしたりすることもできる。

2 指導目標（児童生徒同士の人間関係の形成やコミュニケーションの促進に係る目標）

クラスの友達と一緒に写真を見て、個別に思い出の写真を選んで発表し、一年通して行った初めての木工作业をふり返ることで、充足感を味わい思い出を共有するとともに、友達へ意識を向けられるようにする。

3 取組の中心となる教科・領域等 生活単元学習

4 使用したアプリ、周辺機器

- ・『写真』
- ・Lightning - Digital AV アダプタ

5 指導の経過及び児童生徒の変容

小学部の児童なので、今まで経験したことのない道具を活用して“使える物”作りをすることで、興味・関心の幅を広げ、完成させる喜び等を経験させるために【木工作业】に取り組んだ。1学期は主に、補助具を使っの『のこぎり切り』、『電動ドライバーでのねじ留』を行った。どちらも回を重ねるごとに上手に道具を使い、作業ができるようになってきた。

木工作业では、「小型ラックを完成させ文化祭展示する」という目標を意識付けして取り組んだ。回数を重ねるごとに、頑張って一人でのこぎりで切ったり、刷毛で色・ニスを塗ったりすることができるようになった。パーツを組み立ててラックが完成すると喜んでいた。

最終回の授業は、1年間という長いスパンでの木工作业を振り返るとともに、頑張った事への達成感を味わわせるために修了証も用意した。

今までの木工の活動が児童にとって印象深いもので、よく覚えているようで、最初に皆の活動を振り返り、次に個々の活動にしぼって見ることで、より明確に思い出されたようだった。自分で iPad を操作して見るという事で楽しさも増した。修了証を大型テレビに映すことで、友達のことと一緒に喜ぶ様子が見られた。



6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等）

- ・iPadに個人別の写真を入れて、提示したこと。
- ・大型テレビに写真・修了証を映し出す事で、個人の思いが全員に共有できた。
- ・紙ベースの修了証も授与することで、児童個人の達成感を味わわせることができた。